

平成30年度
北海道地区母子保健事業研修会及び妊娠・出産包括支援推進事業研修会開催要綱

1 目的

本道における母子保健対策の強化と健康教育などの推進を図るため、母子保健関係者が様々な課題を認識し、支援に繋げるための知識や基本的な対応について習得することを目的とする。

2 開催日 平成30年10月17日(水) 10:10～16:40
18日(木) 9:00～12:30

3 場所 自治労会館 4階ホール(札幌市北区北6条西7丁目)

4 参加者 保健師、助産師、看護師、栄養士、保育士、幼稚園教諭、保育教諭、母子保健推進員、母子保健事業従事者、その他母子保健に携わる関係者 延べ150名(予定)

5 参加費 無料

6 日程・内容

<1日目> 10月17日(水)【北海道地区母子保健事業研修会】

9:30～10:10	受付
10:10～10:20	北海道社会貢献賞(母子保健功労者)表彰(予定)
10:20～10:30	開会挨拶
10:30～12:15	講演1「5歳児健診を中心とした乳幼児健診について」 講師 あきやま子どもクリニック 院長 秋山 千枝子 氏
12:15～12:30	質疑・意見交換
12:30～13:30	休憩
13:30～13:50	情報提供「健やか親子21×鷹の爪団 みんなで子育て大作戦」 一般社団法人 日本家族計画協会
13:50～15:35	講演2「エンジンバラ産後うつ病質問票(EPDS)の支援への活用」 講師 北里大学看護学部 准教授 新井 陽子 氏
15:35～15:50	質疑・意見交換
15:50～16:00	休憩
16:00～16:40	行政説明「最近の母子保健を取り巻く状況」 厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課
16:40	閉会

<2日目> 10月18日(木)【妊娠・出産包括支援推進事業研修会】

8:20～ 8:50	受付
8:50～ 9:00	オリエンテーション
9:00～11:50	開会挨拶 講演1「妊娠期～周産期の現場から地域へ繋ぐ養育支援」(仮) 講師 北海道大学周産・母子センター 助教 古瀬 優太 氏 講演2「乳幼児期の養育で起きていることー地域の繋ぐ支援」(仮) 講師 札幌医科大学保健医療学部 准教授 澤田 いずみ 氏 講演3「就学前～学童期へ繋ぐ養育支援」(仮) 講師 藤女子大学人間生活部保育学科 教授 小山 和利 氏
11:50～12:30	意見交換・質疑応答
12:30	妊娠・出産包括支援推進事業研修会 閉会

※ 本研修会は「安全・安心ネットワーク推進研修会(兼 推進会議)」を兼ねて実施します。
なお、「安全・安心ネットワーク推進研修会(兼 推進会議)」については、引き続き午後(13:30～15:00終了予定)も実施します。

7 参加申込み

受講希望者は別紙「参加申込書」に必要事項を記載の上、下記担当あて提出してください。

また、各道立保健所、保健所設置市は管内市町村、関係機関等の「参加申込書」を取りまとめの上、平成30年9月20日（木）までに下記担当あて提出してください。

<問い合わせ先>

北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課

医療・母子保健グループ（担当：丸田）

電話：011-206-6343（直通） FAX：011-232-4240

E-Mail：maruta.michi@pref.hokkaido.lg.jp

平成30年度 北海道地区母子保健事業研修会開催要領

1 目 的

乳幼児の健康診査は、乳幼児期における病気の予防や早期発見、健康の保持及び増進の上で重要な役割を担っており、任意実施されている5歳児健診についても、社会性の発達や自己抑制する力などを確認し、就学に向けた適切な支援に繋げる重要な機会となっている。

また、産後うつは、産後のホルモンバランスの変化や慣れない育児の疲れが原因となって発病し、重症化すると、自殺や育児ネグレクト、虐待に繋がる恐れがあることが指摘されており、厚生労働省においても産後うつ予防などの観点から、昨年度より産婦健康診査事業を行っている。

本研修会では、5歳児健診と産婦健康診査などで使用されているエジンバラ産後うつ症質問票に焦点を当て、知識を習得し、現状と課題について理解を深めることで、母子保健関係者による相談支援及び健康教育等のさらなる充実が図られることを目的とする。

2 開催日時 平成30年10月17日(水) 10:10～16:40
(受付 9:30～10:10)

3 場 所 北海道自治労会館 4階ホール(札幌市中央区北6条西7丁目)

4 参加者 保健師、助産師、看護師、栄養士、保育士、幼稚園教諭、保育教諭、
母子保健推進員、母子保健事業従事者、その他母子保健に携わる関係者
延べ150名(予定)

5 参加費 無 料

6 主 催 北海道、(一社)日本家族計画協会

7 協 力 札幌市

8 後 援 厚生労働省、(公社)日本助産師会、
(予定) (一社)北海道助産師会、(公社)北海道看護協会

9 テ ー マ 「母子への切れ目のない支援に向けて」

10 講 演

- 「5歳児健診を中心とした乳幼児健診について」
講 師 あきやま子どもクリニック 院長 秋山 千枝子 氏
- 「エジンバラ産後うつ病質問票(E P D S)の支援への活用」
講 師 北里大学看護学部 准教授 新井 陽子 氏

平成30年度 妊娠・出産包括支援推進事業研修会開催要領

1 目 的

少子化、核家族化、地域のつながりの希薄化等により、地域において妊産婦やその家族を支える力は弱くなっており、妊娠、出産、子育てに係る不安や負担等を抱える妊産婦が増えてきている。

このため、各地域において妊娠から出産、子育て期までの切れ目ない支援を行う事業を推進し、より身近な場で妊産婦等を支える仕組みの構築を図る必要があるが、道内では、医療機関や専門職（助産師等）が都市部に集中しているなど、各市町村における実施環境は大きく異なっていることから、地域に応じた適切な利用者支援を行うことができるよう、具体的な支援方法や関係機関の連携など、市町村の支援体制整備の促進を目指して本研修会を開催する。

2 開催日時 平成30年10月18日（水） 9：00～12：30（受付 8：20～8：50）

3 会 場 北海道自治労会館 4階ホール（札幌市中央区北6条西7丁目）

4 参加者 保健師、助産師、看護師、栄養士、保育士、幼稚園教諭、保育教諭、母子保健推進員、母子保健事業従事者、その他母子保健に携わる関係者 延べ150名（予定）

5 参加費 無 料

6 主 催 北海道、（一社）日本家族計画協会

7 協 力 札幌市

8 後 援 厚生労働省、（公社）日本助産師会、
（一社）北海道助産師会、（公社）北海道看護協会（予定）

9 内 容

（1） 講演 9：00～11：50

講演1 「妊娠期～周産期の現場から地域へ繋ぐ養育支援」（仮）

講師 北海道大学周産・母子センター 助教 古瀬 優太 氏

講演2 「乳幼児期の養育で起きていることー地域の繋ぐ支援」（仮）

講師 札幌医科大学保健医療学部 准教授 澤田 いずみ 氏

講演3 「就学前～学童期へ繋ぐ養育支援」（仮）

講師 藤女子大学人間生活部保育学科 教授 小山 和利 氏

（2） 質疑・意見交換 11：50～12：30